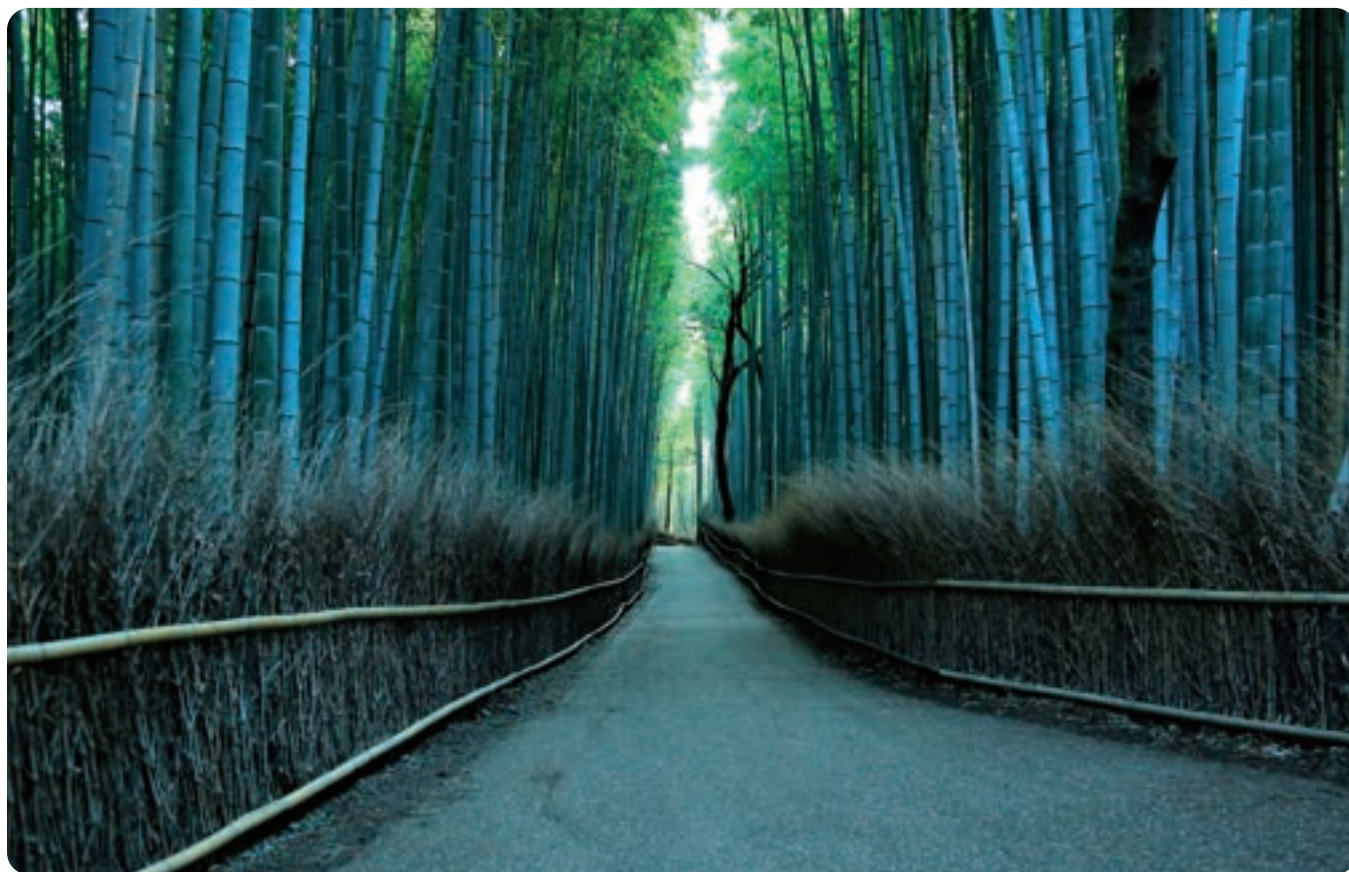


KADERU



[京都 嵐山 竹林の小径]
撮影 麻酔科 工藤 明

Contents

- 早期乳がんは治ります！ 西 隆
- 脳神経内科医が語る医学雑学 第1回
パーキンソン病になった歴史上の人物たち 布村 仁一
- 総合診療科よろず医療断 第1回
総合診療科2年目の抱負～1年目の振り返り～ 佐々木 洸太
- リハ科をまるっとお届けします！ Part.2 作業療法士(OT)
- TOPICS ・マンモサンデー予約受付開始
・消防訓練実施

もしかして **脳卒中?!**

～こんな症状があれば様子見ではなく、すぐに119番へ！～

Face (フェイス)

顔の歪みや
顔の麻痺

Arm (アーム)

腕や足に
力が入らない

Speech (スピーチ)

言葉が出ない
ろれつが回らない

Time (タイム)

症状に気付いたら
至急119番!!

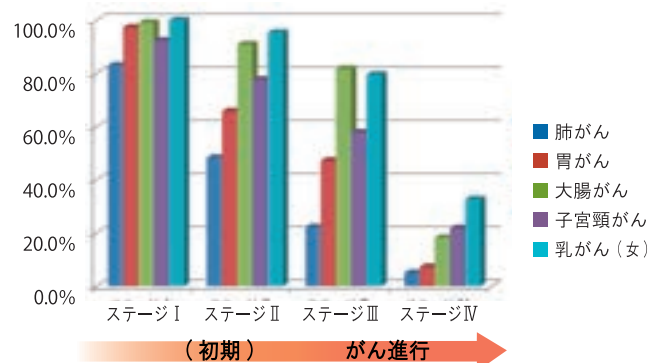
Time is Brain (時は脳なり) …脳梗塞の治療では発症より血行再開までの時間短縮が重要です!!

早期乳がんは治ります！

2018年4月に乳腺・甲状腺外科外来を開設して、はや4年が過ぎました。この間、新規外来患者数約1,400名、手術症例数約350件（乳腺関連250件、甲状腺関連100件）を経験させていただきました。ここまで大きな問題を起こすことなくやってこられたのは、職員・関係者の皆様方のご尽力のおかげです。心から感謝申し上げます。

青森県の平均寿命が日本一低いことは「短命県返上！」のCMでご存じの方も多いと思いますが、がん死亡率の都道府県別順位でも最下位を維持し続けていることをご存じでしょうか？もちろん乳がん死亡率の順位も47番目を守り続けています。乳がん死亡率が改善しない理由として私たち医療者の力不足があることは承知していますが、外来で新患者様を診察して感じることは、病気が進行してから受診する方がいまだに多い、ということです。このことについては青森県がん情報サービスのホームページ上でも同様の指摘がなされています。数年前から乳房にしこり（腫瘍）があることに気づいていながら受診せず、乳房全体が腫瘍に置き換わり、皮膚を破って腫瘍が顔を出し、出血が始まってから受診する方が年に数名ほど受診されます。ここまでではなくても乳房の腫瘍が大きくなってから受診する方が多いのが現状です。乳がんは進行が遅く、がんそのものが痛みを伴うことが少ないこともあって、「しこりをさわる」以外の症状がないことが多いため数年間は様子を見ることができてしまいます。しかし、この間にしこりが大きくなるとともに全身への転移が始まります。全身に転移した乳がん（病期〈ステージ〉IV）を現在の医療では治すことは非常に困難です。一方で、リンパ節転移のない、2cm以下の乳がん（病期I以下）、いわゆる「早期乳がん」では手術後の生存率は約95%に及んでいます【図1】。さらに、周囲組織に浸潤が始まる前の「非浸潤がん」の状態であれば、その生存率は約99%です。

乳腺外科・甲状腺外科
部長 西 隆 先生



【図1】 がんの病期別5年生存率
(出典：全がん協加盟施設調査 2004-2007年症例)
青森県がん情報サービスのホームページから引用

すなわち、早い段階で治療を開始した乳がんは治すことができるのです。乳腺腫瘍を触知できるのは大きさが1cmを超えてからといわれています。腫瘍が1cmの大きさまで成長するのにかかる時間は約10年です。この間は腫瘍を触知できず、他の症状もないため自力で発見することは困難です。(非浸潤がんでは乳頭からの異常分泌(特に血性)で発見されるものがあります。)このため、乳がん検診での早期発見が必要となるのです。乳がん検診ではマンモグラフィ検査(乳房撮影)が行われます。2年に1回の撮影で乳がん死亡率が低下することは臨床試験および検診導入後の成績評価で確認されています。乳がんは日本人女性の9人に1人が罹る時代になっていますが、がんは早期発見・早期治療で治る病気です。ぜひ、乳がん検診を受けてください。

今年のマンモサンデー(日曜日に実施する乳がん検診)は10月16日です。8月1日より予約受付を開始します。詳しくは裏面 TOPICS をご覧ください。

総合診療科 よろず医療

第1回 総合診療科2年目の抱負 ～1年目の振り返り～



総合診療科 医長
佐々木 洸太 先生

連載
(全6回)

青森新都市病院に通院中の皆様、当院の診療を応援いただいている皆様の日頃のご支援に感謝申し上げます。2021年4月より総合診療科を立ち上げ、特にトラブルなく1年間診療を積み重ねて来られたのもひとえに関係各位のおかげであり、合わせて感謝申し上げます。

さて、他の医療機関の「総合診療科」「総合診療医」は、救急診療を主な仕事にされている医師や振り分け役に徹している医師も多くいらっしゃいますが、当科は少し異なります。一人診療科ではございますが、1年間で333名の入院患者さんを担当させていただき、食道がん・肺がん・胃がん・

大腸がん・膵がん・腎臓がんの**抗癌剤治療**や**緩和医療**、関節リウマチや顕微鏡的多発血管炎、リウマチ性多発筋痛症などの膠原病に対する**免疫抑制療法**や**生物学的製剤による治療**も担当しています。

また、好酸球性肺炎や過敏性肺臓炎、間質性肺炎の新規発症や急性増悪に対して高度治療室(HCU)までの人工呼吸器や補助換気を含めた**高度治療**も行いました。消化管出血や胆嚢結石・胆管結石などの消化器疾患に対する**内視鏡治療**は当科の立ち上げから当院で始めた診療です。

また、神経性食思不振症(拒食症)や心的外傷後ストレス障害(PTSD)、抑うつ気分や双極性障害

などの**気分障害**と身体症状の両面の管理が必要な疾患の診療も担当させていただきました。さらには**在宅診療**も開始し、行き届かないところまだまだ多いのが実情ですが、年間で数名の方の在宅での最期をお手伝いさせていただきました。

まだまだ、未熟かつ不勉強、不躰な面が否めませんが、2022年4月からは2名体制となり、より一層皆様のお役に立てる診療になっていきたいと考えております。これからも病院総合診療医、青森新都市病院総合診療科をどうぞよろしくお願い申し上げます。

※詳細な診療内容・診療実績は後日 Web に掲載予定です。

連載

脳神経内科医が語る医学雑学 (全12回)

第1回 パーキンソン病になった歴史上の人物たち

皆さんこんにちは。青森新都市病院 脳神経内科の布村と申します。今回からこのコーナーを担当することになりました。私は今までと趣向を変えて医学雑学のお話をしていこうと考えています。結局自分が専門とする脳神経内科関係のお話が多くなると思いますがどうぞよろしくお願いします。

まず初回はパーキンソン病のお話です。名前はどこかで聞いたことはあるかと思いますが、主に60歳以上に発症し徐々に動作が遅くなり体が硬くなって動けなくなる病気です。手の振るえや転びやすくなることもあります。原因はわかっていませんが脳の中でドパミンという物質をつくる神経細胞が変性消失していきます。このような病気の仲間を神経変性疾患と呼んでおり、いわゆる神経難病です。パーキンソン病は神経変性疾患の中で比較的患者数が多く、わが国にはおよそ20万人、青森県にも2,000人の患者さんがいると考えられています。ドパミンが脳内で減っているので、ドパミンを補充、調整してあげれば症状の改善を得ることができ、実際飲み薬で治療可能な数少ない神経変性疾患です。残念ながら根本的な治療ではなく、10年から20年の経過で病気が進行してしまいます。患者数が多い疾患ですので著名人の患者さんも多数います。芸能関係の方では、映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」の俳優**マイケル・J・フォックス**がまず有名です。

脳神経内科 部長
布村 仁一 先生



なされています。私が見るところでは、ベラルーシの大統領と会談している動画において不自然に両脚を動かしている場面が見受けられ、この動きはともパーキンソン病治療の運動合併症であるジスキネジアという動きに大変似ていると思いますが真相はどうでしょうか？



リハビリをまるっとお届けします！

Part.2 作業療法士 (OT)



リハビリテーション科
作業療法士 2年目 小川小雪さん

座右の銘：不撓不屈
好きな食べ物：馬刺し

作業療法士の仕事は どういったことをするの？

その人が困っている事を聞き出し、治療する仕事。身体機能の回復やトイレなどの生活動作、仕事復帰や、時には精神面にも関わる幅の広い仕事です。

数ある職の中で作業療法士を選んだ理由は？

元々、物作りが好きで、自助具や装具という分野に興味湧き、自分が作ったもので誰かの為になるかも知れないと思ったからです。

作業療法士としてのやりがいや喜びは？

思うようにリハビリが進んだ時や、患者さんに感謝された時に、やりがい・喜びを感じます。

当院で働くどんなスキルが身につく？

急性期病院のため、リスク管理の面が強いです。また看護師や社会福祉士など他スタッフとの関わりが多く、情報共有のスキルも身に付きます。

青森新都市病院リハビリテーション科の 良いところを教えてください！

優しい人がたくさんいて、働きやすい環境です！



TOPICS

10月の第3日曜日は乳がん検診に行こう！

MAMMO SUNDAY 8月1日より予約受付開始

10月の第3日曜日は「マンモサンデー」。
乳がん検診推奨のため、認定NPO法人J.POSHと
全国の医療機関が協力し、日曜日に乳がん検診を
実施する取り組みです。今年は10月16日に開催
されます。

当院乳腺外科部長の西先生も述べているように、
乳がんは「早期発見・早期治療」が大切です。
平日は忙しく、なかなか病院へ足を運べない方
も、この機会にぜひ乳がん検診を受けてみませ
んか。当院では、検査は女性技師が行いますので、
お気軽にご来院下さい。

8月1日よりお電話で予約を受け付けします。
定員に限りがありますので、お早めにお申し込み
下さい。



開催日時 2022年10月16日(日)
(事前予約制)

検査内容 ・マンモグラフィ (定員23名)
・エコー (定員6名)
※エコー検査は初回者のみ

検査費用 ・当院ホームページをご覧ください

予約方法 ・8月1日(月)より電話にて受付開始

予約窓口 017-757-8750
青森新都市病院
マンモサンデー担当者まで
(受付時間：平日9:00～17:00)

※予約時に簡単な問診のため
5分程度お時間をいただきます。

消防訓練実施



先日、消防訓練が行われました。3階機械室より火災が発生したとの想定で、院内放送による周知、避難経路の確認、患者様の誘導について訓練しました。また、実際に消火器を放射してみたり、昇降機を使用して3階屋上から地上へ降りてみるなど、ふだんはなかなか使用する機会のないものに触れ、みな真剣に取り組んでいました。火災を起こさないようにすることが一番ですが、備えあれば憂いなし。ひとりひとりが今回の訓練を忘れず、非常時に活かせるよう願います。平日の実施により、患者様にはご迷惑をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

新型コロナ新規感染者数が一気に増えてしまい、どこか窮屈な感じのある日々。魚もコロナ禍を意識しているのかと思うほど、ソーシャルディスタンスを保って泳いでおります。釣りに行ってもおみやげなしが続く非常に厳しい状況。そんな中、釣りを覚えた我が子が助っ人として私についてくる機会が増えました。せっかくなので自分が釣った魚を食べる経験をさせてあげたいところ。これから季節の変化で魚が増えてくることを祈りつつ、コロナ感染や熱中症に気をつけ、人の少ない漁港を目指す週末は続きそうです。(T.H)

